

楽しそうに レースしている サイトー編の マッキーを見て思ったこと

今月の且雄塾は、オートポリスで開催されたチャレンジャー耐久95に参加するサイトー編&マッキー牧原と一緒にサンデーレースに参加しようと思って九州・熊本までやってきた。

もともとドライバーとしてじやなくて、監督兼セッティングアドバイザーとしてだ。

なんでドライバーとして参加しないのかって!? そうなんだよ、そうしたいんだけどできないんだ。ま、そこそこは最後の「総括」に書くけどね。

マッキーは「連続運転時間は30分が限界や」と言ってるけど、サイトー編はビットインのサインを出すか、ガソリンがなくなるまで何時間でも走り続けるサル体質(本人は耐久向きの体質と言っているけど、はたから見れば○ナニーを覚えたサルと同じだ)だから2人で3時間なら大丈夫だろう。

マシンは、マッキーに自慢の豪邸R(軽く豪邸が建てられるほどチューニング費用が付き込まれていることからこう呼ばれている)だ。

今回の規則では、一回の給油量が20ℓに制限されている。しかも、10分間の停止が義務づけられている。

チューンドRは、燃費が悪いのでこのレギュレーションがきつい。最初の満タン状態で1時

間は走れるとしても残りの2時間を何回の給油で走りきることができるか? これが勝敗をわけるポイントだな。

ほかのクルマもたぶん1〜2回は給油するだろうから、2回でいけばいいんだけど、3回になるとちよつと厳しいな。1回給油で走ったクルマに対して20分もの差があるということだから、いくら豪邸Rとは言え、20分の差を縮めるのはむずかしいぞ。

ま、回転を抑えて走ったとしても1600N/Aなみの燃費は絶対に期待できないもんな。それに、サイトー編に「回転を抑えて」なんて言ったって聞くわけないしね。さっきも書いたように、走り始めるとサルだから知能指数も低下しちゃうんだよな。

決勝レース(といっても今回は台風が近づいていたので、少しでも時間を稼ぐために、ドラミの直後に2周の完熟走行が行われ、即決勝)では、最初に乗ったサイトーさんがとばしすぎて約1時間30分でガス欠。

「1時間経ったくらいからガソリンが気になりだしたので6000rpmでシフトしてたんだけども、今のところトップですよ」だど、いくらトップだってまだまだ序盤なの、まったく、最初は7500rpmとかまわしてたんじゃない? マッキーにチェンジしてからは、20ℓで何周走れるか、だ。

マッキーは6000rpmシフトで淡々と約30分走行。2回目の給油を行って、ふたたび

サンデーレースだって作戦ってもんがある。でも、それを決めるのはドライバー同志。いいよな、こういうのって、みんなホントに楽しそうももん、俺も仲間に入れて!



サイトー編。残り約40分。この時点でポジションは5位だ。

「マッキーのほうがいいタイム出てるじゃん! コンディションが良くなってるからなあ……」というつぶやきを残してビットアウトしていったサイトー編、一抹の不安が……

1周、2周とペースが速い。あれはぜつしたいにタイムを狙ってまわしてるな。4周目、2分23秒台をマークしたとたんにペースが落ちた。やっぱりタイムを出そうとしてまわしてたんか。そんなことをしてるから残り20分までできてガス欠。あくあ、これで終わっちゃった。せつかく4位までポジションアップしてたのに。

マッキーは20ℓを給油して残り10分のコースイン。こうなったら全開だ。全開でいってもガソリンはたりる。サイトー編だけが不安そうな表情。どーせ、全開でいかれたらタイムを更新されちゃうくらいのことしか思っていないだろうけど。コースコンディションがかなり良くなった残り5分、マッキー

